

## ○ 委員長報告

6月定例本会議で報告された観光スポーツ文教警察委員長報告は、以下のとおりです。

令和7年6月定例会

### 観光スポーツ文教警察委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、自転車国際会議（Velo-city）開催準備事業についてであります。

このことについて一部の委員から、会議に向けた若者等による自転車活用推進事業の具体的な内容はどうか。また、会議開催に係る経費はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、開催地として世界から注目される松山市のほか、しまなみ海道を有する今治市の高校生などを対象に、次代を担う若者の柔軟な発想で、自転車を活用したまちづくりや、外国人等に対する正しい自転車利用方法の理解促進方策などを議論するワークショップ等を実施し、その内容をSNSなどで周知することにより会議開催に対する地域住民の理解促進や機運醸成を図るなど自転車新文化の更なる深化に取り組んでまいりたい。

また、開催経費は、今回の補正予算案により策定する開催計画において、全体規模や内容を検討する過程で、概算費用を積算する予定である旨の答弁がありました。

第2点は、高校の授業料無償化と県立高校の魅力化についてであります。

このことについて一部の委員から、保護者の負担軽減に係る支援はどうか。また、公立離れが懸念される中、魅力化への取組みはどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、授業料に対する支援以外に、教科書費、教材費等の教育費を支給する補正予算案を計上しており、非課税世帯を対象に、これまで単価が異なっていた第1子の単価を第2子と同額に引き上げることとしている。また、今年度更新時期を迎える県立高校の1人1台端末について、質の高いICT教育環境の実現に向けて、引き続き公費で整備することにより、保護者の負担軽減を図ることとしている。

県立高校の魅力化については、各地域で生徒のニーズに応じた教育が受けられるよう、県立学校振興計画に基づき、新校及び新学科等を各圏域に設置するとともに、広報活動にも力を入れている旨の答弁がありました。

第3点は、自転車の交通違反に対する青切符の適用開始についてであります。

このことについて一部の委員から、来年4月からの制度開始を県民にどのように周知していくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、昨年度、県警本部内に、自転車・モビリティ対策係を新設し、自転車の交通安全に関する広報・啓発活動や指導取締りを強化している。

今後は、自治体や企業、学校などと更に連携し、メールやSNS等を活用した周知を積極的に行うほか、特に、毎月10日の自転車安全利用の日には、交通取締りと併せた啓発活動を県下一斉に行うこととしている。

引き続き、交通安全教育や街頭活動などのあらゆる機会を通じて、自転車の交通違反に対する青切符の適用開始について丁寧な周知・啓発を行い、県民の理解促進に繋げたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・松山空港国際線活性化事業
- ・日本スポーツマスターズ2025愛媛大会
- ・学校給食費の支援
- ・部活動の地域展開
- ・要人警護体制の強化
- ・外国人観光客等の視点に立った道路環境の整備

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。